

## 岡山県立新見高等学校

～おかやま創生 高校パワーアップ事業～

産学官連携による、  
新見地域の多様な資源を活用した、  
街づくりを担う人材の育成

## 新見高校の紹介

場所：岡山県の北西部

歴史：平成17年4月、旧新見高校と新見北高校が統合され  
新見高校が誕生

学科及び生徒数

	1年次生	2年次生	3年次生	合計
普通科	73	86	94	253
生物生産科	18	21	25	64
工業技術科	24	34	31	89
総合ビジネス科	20	22	26	68
合計	135	163	176	474

## 新見高校の地域連携の歴史

平成23年度～ わくわく交流事業

平成25年度～ 生き生き交流事業

平成28年度～ TDCプロジェクト

平成30年度～ 高校パワーアップ事業

「地域の子どもたちは地域で育てる」  
という地域文化

## 主権者教育の取り組み

(普通科の取り組み)

### 【主権者教育の概要・意義・目的】

#### ●概要

新見高校生が、地域の課題やこれからのまちづくりのビジョンを考察し、市議会への陳情を通して、地域社会へ参画する活動。

#### ●目的

- ・ 地域・世界を良くする
- ・ 共同体の一員としての当事者意識
- ・ 主体性
- ・ 進路実現

### 【第1期（12期生）】

「まずは、やってみる」の精神



- ・ 地域の願い（家族を中心とした住民の気持ち）を集めて、グループで整理しまとめる。
- ・ それを具体的な陳情として整え、市議会へ提出。
- ・ 市議会議務局の方々の協力と市議会議員の方々の誠実な対応。
- ・ 最終的に5つ提出した陳情のうち、2つが採用された。

## 【 第2期 (13期生) 】



<第1期の反省>  
市議会に陳情書を提出してから、議会でどのような議論が展開され、陳情実現に至ったかを継続して見ていくことができなかった。

<第2期の改善>  
■議会での審議を定期的に傍聴。  
■市役所職員の方からの陳情内容がどのように具体化したのか聞き取りを行う。

陳情を出した市民として責任ある行動をとった！

## 【 第3期 (14期生) 】

<第2期の反省①>

■地域を考えていくうえで  
のテーマが固定化。

<第3期の改善①>

●SDGs17項目からテーマを  
選んで探究をスタート！



地球規模で考えた課題を、地域に落とし込み、新見市へ陳情

## 【 第3期 (14期生) 】

<第2期の反省②>

■高校生のアイデアは市の現状に即していなかったり、実現可能性が低かったり。



<第3期の改善②>

●市役所・教育委員会・社会福祉協議会などで、  
地域課題を担当されている方に相談！



## 【 第3期 (14期生) 】

<陳情内容>

海のない新見市から「海の豊かさを守ろう」を実現するために

- ① オリジナルエコバックの配布
- ② レジ袋有料化の意義について  
広報活動を充実
- ③ レジ袋を断った人へのエコ  
ポイント制度を創設

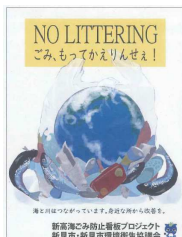
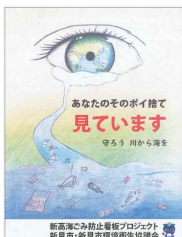


一部採択 (②のみ)



## 【 第3期 (14期生) 】

不法投棄・ポイ捨て防止看板の作製・設置



●新見市生活環境課と  
共同で作製

●新見市内の川ごみの  
調査も実施

●オリジナルデザイン

## 【 第4期 (15期生) 】

SDGsを入口として、自分の興味関心をもとに地球規模の課題から  
研究テーマを設定し、個人探究を行う。



⇒SDGs・個人の研究テーマをもとに  
グループを編成し、グループの研究  
テーマを設定する。

⇒SDGs・研究テーマに関連する新見市の  
現状を分析し、地域課題の解決に  
向けてアイデアを出し合い、問題  
提起・解決策提案型陳情として、  
新見市議会への提案を通して主体的  
に地域社会へ参画する。

## 生物生産科の取り組み

### 新見駅を草花で装飾



生物生産科で育てたサルビア、マリーゴールド等の苗120ポットを新見駅の花壇やプランターに定植して装飾した。毎年恒例の行事だが、マスクを着用し、お互いの距離を取りながら慎重に作業した。生徒達は不安感が広がる今だからこそ利用者の癒やしになるのではと手応えを感じた。

## 生物生産科の取り組み

### 小学校等との栽培体験交流活動



例年は小学校・こども園・保育園の児童・園児とイネの栽培やサツマイモ栽培を通じた、交流活動を行っている。今年度は稲刈りとイモ掘りを通じた交流が何とか実施できた。お互いの距離の取り方に苦慮しながらの作業だったが、充分満足してもらえた。

## 工業技術科の取り組み

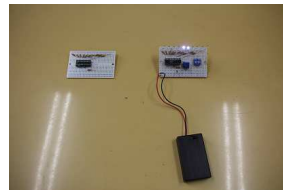
### LEGOロボット・RoBoHoNを使ったプログラミング学習



毎年、プログラミングの楽しさを知ってもらうために市内小学校へ出前授業に行っている。今年は例年より時期を遅らせて10月と11月に開催する予定。(写真は昨年度の様子)

## 工業技術科の取り組み

### LED電子回路工作出前授業



例年は小学生を対象に行っていた出前授業を今年度は中学生にも拡大した。ある程度の知識・技術を持った中学生の興味が深まるよう工夫しながら下準備をしている。

## 工業技術科の取り組み

### タブレット用スタンドの作成



臨時休校期間が終了した6月以降、今後に備えてオンライン授業等で活用するタブレットを固定するスタンドの作成に取り組んだ。様々なサイズのタブレットを色々な向きで使えるよう試行錯誤を重ねながら作成している。地元中学校に試作品を持ち込んだところ、その使いやすさを絶賛された。

## 総合ビジネス科の取り組み

### 3年次生課題研究（販売実習）



例年なら市内の商業施設で、毎回テーマを設定し、特色ある販売活動を行っている。今年は昼食休憩時間中に校内で実施した。気心の知れた相手とはいえ、真剣に取り組んだ。

## 総合ビジネス科の取り組み

### 小学生対象パソコン教室



毎年、隣接している小学校と年2回のパソコン教室を実施している。  
今年度は11月に1度きりの実施を計画している。  
1度きり故、先生役となる高校生の準備にその成否がかかっている。  
(写真は昨年度のもの)

## 部活動の取り組み

### 吹奏楽部による地域との交流



例年、吹奏楽部は定期演奏会を開いたり、地域の吹奏楽祭に参加するなど地域との交流に積極的である。  
今年度は校内で「中庭コンサート」を開催した。  
規模は縮小されたものの充実した交流が行われた。

## まとめ

小中学生のとき抱いた高校生への憧れ  
小中学生に胸を張れる高校生にならなければならないという自覚  
高校時代に地域に育ててもらったという感謝と  
社会の一員としての当事者意識  
社会人として地域の子ども達を育てるという責任感  
「地域の子どもたちは地域で育てる」という地域文化の醸成

**地域文化醸成のため、  
今後もこの活動を継続します！**